

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税のありがたさ

深谷市立花園中学校 三年 森谷 優菜

税金は生活に密着している大切な物であるはずなのです。それなのに、私が思い出せるのは消費税、所得税くらいです。消費税も税込価格に表示が変わってから忘れつつあります。親は毎年五月になると固定資産税・自動車税を支払わなくてはとっていますが、給料から所得税、市県民税は天引きされているので、普通気にしている様子はありません。そこで調べてみたら税金の種類が多くあるのには驚きました。酒税・贈与税・相続税などはよく耳にするし身近な感じがしますが、とん税など聞いたこともない税もありました。

しかし、私達は日本という国に住んでいる限り、税金と切り離れた生活は誰一人として送ることは出来ません。私達子供ももちろんです。例えば、平成十四年の資料によると教育費の負担額は、一人当たり年間、小学生八五八〇〇〇円・中学生九三八〇〇〇円・全日制高校生九一八〇〇〇円だそうです。当たり前のように学校に通っていますが、税金でこれだけ負担しているからこそ充実した学校生活を送ることができるのです。私達中学生にあっても、一人に約一〇〇万円と言う金額が使われていることを覚えていた方がいいのではないのでしょうか。税金を納める重みを考えれば、私たちは有意義な学校生活を送らなくてはならないと思います。

他にもゴミ処理費用として国民一人当たり年間、約二二一〇〇円、医療費公費負担額は国民一人当たり年間、約八〇六〇〇円を税金で負担していると載っていました。何気なく出しているゴミの処理も税金がなければ、私たちは大変困ってしまうでしょう。

色々税金の歳出項目はありますが、日常使っている道路も税金がなければ維持も難しいのです。安全で快適な道路を通行できるのも税金のお陰です。

中学三年生になって公民の授業で納税の義務について学習しました。権利を主張する前に義務を果たさないと社会は成り立たないと私は思います。国・県・市町村に要望があっても基本となる税金が滞っていると、住民の生活に反映しない結果になるからです。

税金を滞納しても自分の生活には関係ないと思っている人が増えていると聞いたことがあります。それも大きな間違いだと思います。私達が一人で生きていることは絶対にありえません。身勝手な考えの人が一人でも少なくなっただけです。十分な社会生活を送るためにも、納税の義務は守るべきなのです。

私は、まだ「税金を納める」状況になることが少ないのですが、これから先、その立場になった時、確実に納めて役に立てて欲しいと思っています。それが、国・県・市町村・そして自分の発展につながると信じているからです。